

入省一年目の10月から翌年の3月末までの半年間は、地方の労働局やハローワークで研修を受けます。実際に職業安定行政の最前線で働き、職業相談、職業紹介や事業主への指導・助言などを通して職業安定行政施策の運用を具体的に学ぶことができます。

本ページでは、平成28年度に地方研修を受けた職員の経験について紹介します。

兵庫労働局・神戸公共職業安定所



職業安定局 雇用開発部 高齢者雇用対策課

まつもと りお
松本 理央

研修を経て、本省で企画立案された施策はハローワークという現場を通じて、はじめて支援を必要とする求職者に届けることができるのだと実感し、本省職員として、現場の業務負担や業務の効率性等に配慮する視点も大切であると気づかされました。研修で培った現場業務の知見や課題意識を忘れずに、誰かの支援を必要とする求職者の方々のために、職業安定行政として何ができるのかを考え続けていきたいと思います。

北海道労働局・札幌公共職業安定所



職業安定局 総務課

なか むら まい
中村 舞

本省に戻ってからも、これは研修先ではどうだったかと思いつく度、(ふと目に留まるのは北海道ゆかりのものである度、)自分の中にまた1つ拠り所が増えたことを実感します。研修では、労働基準部や雇用環境・均等部、労働局を越えて北海道庁や札幌市、また地元企業の方の様々なご意見にも触れたことで、雇用情勢が上向く中でも、新たに職業安定行政に求められる役割もあると考えました。日々、社会の変遷にアンテナを張って業務に臨んでいきたいです。

広島労働局・広島公共職業安定所



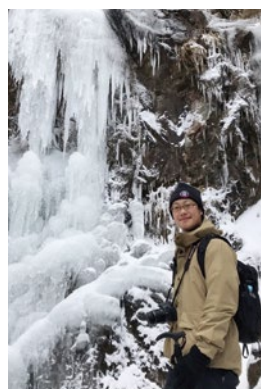
人材開発統括官付 若年者・キャリア形成支援担当参事官室

ふじた りさこ
藤田 里左子

研修期間中、様々な部門での業務を経験する中で、一見それぞれ独立して見える業務は、すべてが連動して雇用の安定という目標に向けて行われているものだとことを実感できたことが非常に印象に残っています。

本省の業務のみでは分かり得なかった労働局やハローワークの業務を経験することができたため、現在の業務で担当する施策や事業が、どのようにすれば現場で円滑に進められるか考えながら、日々の業務に取り組んでいます。

福岡労働局・福岡中央公共職業安定所



職業安定局 雇用開発部 雇用開発企画課

たかぎ ふみひこ
高木 郁彦

研修では様々な業務に触れることができただけでなく、各業務に携わる職員や相談員から熱意や不安など様々な思いを聞かせてもらいました。また、来所者のキャリア支援のための連携協働も工夫しているという実感を持ちました。一年目に福岡での研修ができたということを胸に刻み、そこでの時間や経験、出会った人々、失敗、素朴な思い等を大切に、本省業務でも利用者のニーズとそこで働く人の思いの両方を想像しながら業務に取り組んでいきたいと思っています。

愛知労働局・名古屋中公共職業安定所



職業安定局 雇用政策課

ますだ なおとも
増田 直友

まず現場で感じたことはハローワーク利用者からの期待はとても大きいものだったということです。そして、現場の職員がどうすればそうした要望に応えられるのかと日々試行錯誤していることを実感できたことは非常に貴重な体験でした。

研修を通して、現場の方がより業務に取り組みやしやすい環境を整えたいと感じました。半年間の研修で得た現場ならではの視点と現場の職員とのつながりをこれからも大切に業務に励みたいと思います。



人間科学職の研修について

入省一年目には以下のような研修が実施されます。



4月

▶ 合同初任研修

全省庁合同で行われる3日間の宿泊研修。講演やディスカッション、公務員倫理の学習等を通じて、国家公務員としての心構えを学ぶ。

▶ 厚生労働省内研修

厚生労働省新任職員対象の約3週間の研修。省が所掌する幅広い業務内容を学びながら、行政官としての基礎を身に付ける。またハローワークなどの関連施設の見学も行う。

5月～7月

▶ 人間科学職研修

厚生労働省の人間科学職新任職員を対象とした数日間の研修。労働行政の概要に加えて、人間科学職としての心構えなどについて学び、人間科学職の役割への理解を深める。

▶ 人事院初任行政研修

全省庁合同の5週間にわたる研修。政策に関する講義や討論に加え、介護施設や地方自治体での見学・実習を行う。様々な省庁の同期と親睦を深めるとともに幅広い知見と繋がりを得る機会となる。